

校種	④ ・ 中	学校番号	6 7	学校名	宇都宮市立岡本北小学校
----	-------	------	-----	-----	-------------

平成 23 年度 学校経営の概要及び特色ある学校づくりに関する取組

1 学校経営の理念

学校教育目標の具現化を目指して全教職員が一丸となり、創意と活力にあふれる教育活動を展開するとともに、「安心して通うことのできる学校」「自分の力を発揮できる楽しい学校」「地域から信頼される学校」を目指した学校づくりを推進する。

2 教育目標

(1) 基本目標

個々の特性や能力を最大限に伸ばし、心身ともに健康で、創造性と実践力に富み、「知」「徳」「体」の調和のとれた、心豊かな児童の育成を推進する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

「健康で明るい子ども」
「よく考えてはんだんできる子ども」
「思いやりのある子ども」
「ねばり強く進んでじっせんする子ども」

子どものスローガン

つよく
やさしく
かしこい子

3 学校経営の方針

(1) 健康で明るい子どもを育てる

- ア 自らあいさつをしようとしたり自ら発言しようとしたりする態度の育成を図り、児童の元気よさや明るさなどを伸ばす。
- イ 時間を守ったり場に応じた態度をとって人の話をきちんと聞いたりするなど、基本的な生活習慣を児童の発達の段階に応じて身に付けさせる。
- ウ 給食指導や保健指導をとおして食の大切さについて意識を高めるとともに、外遊びの奨励や体育的行事の充実等により日常的な運動量の確保に努める。
- エ 植物の栽培や小動物の飼育等をとおして命の大切さを感じさせるとともに、各教科や学校行事等の指導の中で美しいものや価値あるものに気付き感動する経験を豊富にさせることにより、豊かな感性を磨く。
- オ きまりの意義を理解させるとともに、具体的な場面に応じて自分のとるべき行動の在り方を考えさせ、規範意識の高揚を図る。

(2) よく考えて判断できる子どもを育てる

- ア 必要に応じて学年の枠を超えた繰り返し学習を行うなどしながら、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させる。
- イ 児童が主体的に言語活動に取り組めるよう各教科等における教育活動の充実を図り、思考力、判断力、表現力を高める。
- ウ 適度な家庭学習に取り組ませることをとおして、学ぶ習慣を身に付けさせ、進んで学習に取り組む意欲を高める。
- エ 教職員自身が心の変化を演じるなどして児童の疑問や感動を喚起するとともに、児童の心の状況を見取りながら、一人ひとりを生かすことに努める。
- オ 教職員同士が互いに授業を見合い切磋琢磨することを重視し、教材や発問、板書や個別への支援のあり方等について考え合う教職員集団づくりを推進する。

(3) 思いやりのある子どもを育てる

- ア 児童の人権感覚を磨くため、児童の言動等にきめ細かく対応するとともに、教職員自身の言動についても一人ひとりが十分留意する。
- イ 植物の栽培や小動物の飼育等をとおして命の大切さを感じさせるとともに、自他の安全を考えた

- 行動がとれるよう場面に応じて具体的に指導し、危険に対する予知能力や判断力を身に付けさせる。
- ウ 目的を明確にしたグループ活動を充実させたり学級活動の話し合いや係活動を活性化させたりすることをおして、互いの意見や考えを尊重し合いながら切磋琢磨する雰囲気を醸成する。
- エ 「いじめをしない、させない、許さない」ための望ましい集団づくりを進めるとともに、教育相談や交友調査等をおして予防に努め、いじめが起きた際には、学校全体として毅然と対応する。
- オ 教職員の率先垂範により、弱い立場の児童の頑張りを認め褒め合う集団の雰囲気づくりを進める。

(4) ねばり強く進んで実践する子どもを育てる

- ア 教育相談等をおして児童理解を深め、児童一人ひとりのよさが生きる教育活動を重視するとともに、教師が児童の活躍を認め励ますことで自分のよさに気付かせる。
- イ 夢を描く機会を大切にするとともに、児童一人ひとりが立てた具体的な目標を実現するための努力を教職員が後押しし、達成感や充実感を豊富に味わわせる。
- ウ 多様な体験活動をおし、自分たちの力で困難を克服する経験を積ませることで、自信を持たせ新たなことへの挑戦意欲を高める。
- エ 各教科等の授業の中で、やや困難な課題を創意工夫しながら解決する機会を適時設けるなどして、新たな課題に主体的に対応できる力を高める。
- オ 生活科や総合的な学習の時間の中で、自分の将来を思い描いたり、自らの生き方について考えたりする機会を豊富に設ける。

(5) 開かれた学校づくりを進め、地域に根ざした教育活動の推進に努める

- ア 地域協議会や宮っ子ステーション等、様々な機会をとらえながら家庭や地域住民との連携を密にし、相互に協力し合って児童の健全育成を図る雰囲気を醸成する。
- イ 広報活動の充実を図り、学校の教育活動への理解を促進する。
- ウ 地域の教育力を活用して教育活動の充実と活性化を図るとともに、学校開放日や施設の開放、地域行事への積極的な参加等、地域の文化的中心としての役割を担うように努める。
- エ 異校種との連携を重視し、特に小中一貫教育については具体的な取組を積極的に推進する。

4 特色ある学校づくりに関する取組

(1) 育てたい資質・能力

人や動植物とのふれあいを大切にした、豊かな体験活動を通して「心の教育」を推進することにより、感性豊かで、新しい時代を生き抜く資質や能力をもった態度を育成する。

(2) 具体的取組（「頑張る学校プロジェクト」関連には、文頭に◇）

① 「心の教育」の推進

- ◇ あいさつ運動（児童会による「朝のあいさつ運動」）
- ◇ 縦割り班による清掃（高学年のリーダーシップ育成と異学年の教え合い助け合い）や集会活動
 - ・ 朝の読書（毎朝）
 - ・ P T Aの図書館ボランティアや図書館司書などによる読み聞かせ
- ◇ 琴や尺八の演奏体験、茶道体験等

- ◇ うさぎや魚の飼育
- ◇ なかよし花壇での花栽培と教材園での野菜栽培

② 福祉教育の推進

- ◇ アイマスク、点字、車椅子、手話、高齢者疑似、盲導犬などの各種体験

③ 高齢者との交流

- ◇ 昔遊び、グランドゴルフ

④ 子ども会連合会との交流

- ・ 支部ごとの「夏休みクリーン作戦」
- ・ チャレンジランキング

⑤ 安全教室 N T T セコム

⑥ 出前授業 カルビー 東京ガス 大塚製薬